

令和 3年度 施策評価シート（令和 2年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち  
 施策 02 緑を生かした景観の形成  
 主管課： 都市計画課  
 関係課： 経済課、建設課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市内全域	市民が美しいと感じる景観が維持・創出されるまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

緑被率（公園・樹林地・農地・草地・水面）							(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)		
62.00	61.50	61.50	61.30	61.20	61.08	60.00		
向上指針	上がると良い	（現状）前年度との変化はほとんどなく、0.12%減少していますが、目標値は上回っています。 （原因）保存緑地の指定や緑地の借入などを進め、緑の保全が図られているためと考えられます。						
対前年度	横ばい							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題としない							

市内には、緑を生かした美しい景観が十分にあると思う市民の割合							(%)	都市計画課
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)		
75.40	75.30	75.90	78.80	76.50	81.90	75.00		
向上指針	上がると良い	（現状）前年度より5.4%増加しています。目標値は上回っています。 （原因）市特有の緑である斜面林、平地林等を保存緑地の指定、愛宕谷津の保全していることや身近な緑である公園、緑地、街路樹を生かしたまちづくりが美しい景観を感じているものと考えられます。						
対前年度	向上							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題としない							

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)		
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
向上指針								
対前年度								
目標達成度								
次年度課題								

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	635,039	541,539	610,485	613,268	613,072
人件費	25,208	28,741	29,353	0	0
トータルコスト	660,247	570,280	639,838	613,268	613,072

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
01 美しい都市景観の形成	向上					3,314	4,244	2,333	3,401	3,401
02 緑地の保全	横ば					148,535	3,472	8,919	9,110	10,760
03 公園・街路樹等の維持管理	向上	維持				482,319	532,844	598,266	599,679	597,833
99 施策の総合推進						871	979	967	1,078	1,078

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>引続き、保存緑地の保全維持に努めるとともに、愛宕谷津の拡大を図り、緑の拠点づくりを進めています。</p> <p>また、公園街づくり団体や公園等里親事業のボランティア団体と協力を図りながら、良好な公園等の維持管理に努めるとともに、参加団体の増加を図ります。</p> <p>第二次守谷市緑の基本計画については、グリーンインフラと生物多様性を位置づけて作成しているが、繰越事業となり令和3年9月末に策定予定である。</p>	推進状況	順調
	次年度への課題	課題なし
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>保存緑地の指定期間満了に伴い、更新の手続きを適正に行います。愛宕谷津の保全に向け、引続き借地の拡大を図るとともに、将来も維持できる方策の検討を進めます。</p> <p>公園まちづくり団体や公園等里親事業のボランティア団体と協力を図りながら、良好な公園等の維持管理に努めるとともに、参加団体の増加を図ります。</p> <p>また、より良い景観形成を図るため、市民・企業への具体的な取組等の周知を図ります。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

<p>第二次守谷市緑の基本計画に基づき各種施策を推進します。特に重点地区の野鳥のみち周辺地区においては、風致地区・特別緑地保全地区の指定や土地取得のための補助制度及び基金制度を探求し、恒久的に維持保全を図ります。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持